

膣ゼリーの使い方

1. コップに熱い湯(約45℃)を8分まで入れ、その中にゼリーを、フタをしたまま、どっぷりつけます。約7~8分間で溶けますが、十分に溶けるまで温めて下さい。ゼリーが熱くなっていますので、やけどにはくれぐれも御注意下さい。
2. ゼリーが流れ出ないように、先に女性は腰枕をして下さい。
3. 少しドロドロにしたらフタをとり、注射器の口を中に入れて3~4cc吸い上げます。こぼさない様に注意して、膣内に注射器を深く、根元まで静かにさしこみ、ゼリーを注入します。注射器の先は、ゼリーでぬれていますので、たやすく挿入できます。
4. ゼリーは約20cc入っていますので、1回3~4ccの使用で約5ヶ月分使用できます。使った注射器は熱湯で洗って乾かし、複数回ご使用して下さい。
5. 男の子のほしい方は、それから十分にペッティングをして、妻を興奮させてから性交して下さい。ゼリーが少しもれても気にしないこと。
6. 女の子のほしい方は、ゼリーを入れてから5分間位待ってなるべく妻を刺激しないように性交して下さい。
7. 5分間とは、ゼリーが膣内のすみずみまでしみわたる時間です。
8. ゼリーを使う時は、食事の制限、酢、又は重曹の膣洗浄はいりません。
9. ゼリーは、常温(室温)で保管して下さい。直射日光だけ避ければ心配ありません。(冷蔵庫はいけません)ただし、少し位の温度の変化は心配ありません。
10. 保存期間は実験の結果、未開封の場合、製造年月日より3年間有効です。
11. ゼリーは膣内に放出された精液と同じ成分ですので、英国の実験でも、胎児の奇形との関連はありません。

注意：このゼリーを使ったから、妊娠しやすくなるとか、妊娠しにくくなるということはなく、ゼリーと妊娠とは全く関係ありません。入手しにくいゼリーですので、十分に排卵日又は排卵2日前を確かめて性交して下さい。また、排卵日の性交で必ず妊娠するわけではありません。このゼリーは、気候の関係で固まった状態ですので、これを溶かして使います。もちろん溶かしても内容や効力には、全く変化のないようにできています。

すとうレディースクリニック